

会 議 録

第8回定例会

開会 平成30年7月19日

教育委員会会議録

1 開 会 平成30年7月19日 午後1時30分

2 閉 会 平成30年7月19日 午後2時55分

3 教育委員会出席者

| | |
|-----|-------|
| 教育長 | 美馬 持仁 |
| 委 員 | 松重 和美 |
| 委 員 | 辻 貴博 |
| 委 員 | 藤本 宗子 |
| 委 員 | 小林 信行 |
| 委 員 | 河口 雅子 |

4 教育長及び委員以外の出席者

| | |
|--------------|-------|
| 副 教 育 長 | 勢井 研 |
| 教 育 次 長 | 青山 佳裕 |
| 教 育 次 長 | 竹内 敏 |
| コンプライアンス推進室長 | 乾 修治 |
| 教育創生課長 | 長町 哲治 |
| 特別支援教育課長 | 榊 浩一 |
| 体育学校安全課長 | 林 日出夫 |
| 教育政策課長 | 臼杵 一浩 |
| 教育政策課副課長 | 木下 淳子 |

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 議案第18号及び報告事項1を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《議案第19号 平成31年度徳島県立中学校生徒募集選抜要項について》

教育長 説明を求める。

教育創生課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし

教育長 議案第19号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第19号を原案どおり決定する旨を告げる。

《議案第20号 平成31年度徳島県公立高等学校生徒募集選抜要項について》

教育長 説明を求める。

教育創生課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

松重委員：合理的配慮に対する記述は要項のどこかに書いてあるか。

教育創生課長：合理的配慮は特別措置という項目になるが、記述はある。例えば、一般選抜であれば、3ページ「(2) 中学校長による手続 オ」に特別措置申請書について書いてある。特別な配慮を必要とする場合は、特別措置申請書を提出してもらうことになっている。どのような配慮をするかについては、中学校、高校等が相談をして決める。

教育長：個々の障がいに応じて措置を考えることになるが、例えばどんな障がいに対してどのような措置をしたか。

教育創生課長：例えば、難聴でリスニング等が聞きづらいという場合は、スピーカーの近くに座席を変更したり、リスニングは別室で受検できるようにしたりと、障がいに応じて配慮をしている。

松重委員：17ページにも書いてあるね。

教育創生課長：各選抜ごとに特別措置について記載している。

教育長：できるだけ出願前に中学校から高校に相談してもらって、その生徒にとって、より適切な配慮ができるような体制をとっている。

教育長 議案第20号を原案どおり決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第20号を原案どおり決定する旨を告げる。

《報告事項2 平成31年度徳島県公立高等学校入学者選抜生徒募集案内について》

教育長 報告を求める。

教育創生課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

教育長：県外への周知、県外からの生徒の受入を学校と協力してやっていってもらいたい。

松重委員：活動の記録があるが、スポーツやボランティアなど、現在どのような形で資料として出てくるのか。

教育創生課長：県の様式で定めており、高等学校の選抜要項の中に様式として掲載している。また、ホームページにも掲載している。全国大会、県大会の結果、記録等を書くような形になっている。

松重委員：将来的に、学力だけでなく活動の記録も評価の対象になってくると思う。

また、ポートフォリオといった動きが出て来ているので、活動の記録を入試の判断材料にするなど、長い目で見て積み重ねで、中学校、高校、大学そして社会人とそういったことも意識をして、単に学力だけではなく、そういった所も系統的に評価できる仕組みがあった方がいいかと思う。

教育長：多分、それは調査書にあたる場所かと思う。この活動の記録は、特色選抜で各競技に関するものではないかと思われる。将来的に、松重委員からお話しいただいたように、調査書の記載の中で、活動の記録の幅をどう広げていくのかということ、研究していくことも大事だと思う。よろしく願いたい。

《議案第21号 平成31年度徳島県立特別支援学校高等部生徒募集選抜要項について》

教育長 説明を求める。

特別支援教育課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

松重委員：発達障がいの方の割合は増えているのか。

特別支援教育課長：発達障がいの子どもの数については、通常の学級に在籍する方は、国の調査で6.5%と示されている。特別支援学級には、発達障がいの1つである自閉症の学級があり、特別支援学級に在籍している自閉症の子どもの数は全体的に増えている状況である。現在、特別支援学級の4割程度が自閉症の学級といった割合になっている。

小林委員：みなと高等学園の定員は、今後増やしていく可能性もあるのか。

特別支援教育課長：みなと高等学園の定員については、現在32名としており、病弱のクラスが2クラス、知的障がいのクラスが2クラスの計4クラスで入学者選抜を行っている。今後の受検者数の推移や受検状況等を見ていかなければいけないと思っているが、みなと高等学園では発達障がいの子どもたちの就労を目指した新しい取組を実践してもらっているところであり、小松島特産を使った「キクラゲット」などの新商品開発であるとか、放課後の子ども教室等に出向いて紙芝居の読み聞かせを行うなど、地域貢献ができるような取組を進めている。

このような新しい取組をするにあたっては、現在の規模が適正ではないかというふうに考えている。将来的には子どもの数も減ってくるのが予想されるが、今のところは現状維持が適切ではないかと考えている。

教育長 議案第21号を原案どおり決定してよいかを諮る。
各委員 異議なし。
教育長 議案第21号を原案どおり決定する旨を告げる。

《報告事項3 平成31年度徳島県立特別支援学校高等部生徒募集選抜実施要領一覧について》

教育長 報告を求める。
特別支援教育課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

特になし

《報告事項4 平成30年度「中学校トップスポーツ競技育成事業」選考結果について》

教育長 報告を求める。
体育学校安全課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

小林委員：選考後、どのような支援をしているのか。

体育学校安全課長：全体で500万円の助成金を配当している。主に県外遠征や強化合宿に活用している。

松重委員：中学校から高校への連携はどうなっているのか。

体育学校安全課長：NEOトップスポーツ校強化事業により、高校への繋がりをつくる。また、各競技団体との連携にも取り組んでおり、ソフトボールや新体操は連携ができています。

小林委員：一つの競技を長く続けているとバーンアウトしがちであるが、他競技への変更などは、どうなっているのか。

副教育長：トップスポーツアスリート事業として、小中学生を対象にウエイトリフティングやカヌーなどの他の競技の体験活動を実施している。

藤本委員：野球やバレーが競技人口が少なくなっている。

体育学校安全課長：少子化の影響が大きい。合同チーム制を取り入れている。

河口委員：指導力のある教員の異動によって、実績を上げている学校が変わる状況があるのではないか。

体育学校安全課長：後継者の育成や体育協会のバックアップ体制を整えていかなければならない。競技団体等地域を巻き込んで育成していく。

[非公開]

《報告事項1 公益通報の受付・処理状況について（平成30年4月～6月分）》

《議案第18号 個人情報開示請求拒否決定に係る審査請求に対する裁決について》

[閉 会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午後2時55分